

## 変動金利のしくみ

変動金利型ローンとは、その時々の変動金利の変動に応じて利率を変え、5年ごとに返済額を変更するローンのこと。

変動金利型ローンの金利水準のもとになっているのは短期プライムレート（短プライム企業への最優遇貸出金利のこと）です。短プライム自体は毎月のように変わりますが、ローンに反映させるのは原則として年2回。通常は毎年4月と10月の短プライムに応じて2か月後の返済分から新金利を適用します。

ただし、5年間は返済額を変えないという制限があるので、その間の金利の変動は返済額に占める利息と元金の割合を調整することで吸収するしくみです。5年経過した段階で、金利の上昇が多かった場合は次の5年間の返済額がアップします。ただし、アップする割合は最高25%以内に抑えられています。逆に金利の下落が多ければ返済額がダウンします。

■変動金利のしくみ図

